

Chiba Winter Fes 2018



千葉大学西千葉キャンパスで、**2018年2月12日**(月/振休)に大きな環境イベントが開催されました。千葉大学で環境活動を行っている「**環境ISO学生委員会**」が主催し、“地域社会を巻き込んだ環境啓発イベントを行いたい”という想いから発案した初めてのイベントで、学生や地域のみなさまを対象にエコ意識の啓発を行いました。当日は晴天にも恵まれ、来場者数が約**1500人**という大盛況でした。

(協賛：株式会社オオクシ、株式会社京葉銀行 後援：千葉市、千葉大学)

環境ISO学生委員会が京葉銀行と協同して行っているecoプロジェクトのブースも出店しました。

千葉大学 × 京葉銀行 ecoプロジェクト

環境ISO学生委員会が京葉銀行と協同して行っているecoプロジェクトでは、千葉県の特産品をPRして市町村の地域活性化を支援するとともに、地産地消による環境貢献を推進する目的で、「**千産千消フェア～ちばを食べてエコしよう～**」という企画を行っています。その一環で、今回のイベントで地産地消の特産品販売ブースを出店しました。

学生がイベントを開催し、京葉銀行が農家に店出を依頼しました。当日は循環型農業を目指し自然由来の有機肥料を多く利用した落花生やトマト、ねぎ、小松菜、ほうれん草、みょうが、人参、白菜、かぶ、いちごなどの千葉県の特産品がたくさん並び、訪れた市民の皆さまにご購入いただきました。



イベントではこのほかに様々な企画が行われました。

公開収録

チバテレビ 毎週金曜 23:30～24:00に放送中の『**ジャルッと!爆ハリ!**』の公開収録を行いました。お笑い芸人のジャルジャルとGAG少年楽団が出演し、約400人の観客が参加して盛り上がりしました。
※放送予定日 3/16・3/23・3/30・(4/6)

大ホール

サークルの千葉大学合唱団とモダンジャズ研究会が素敵なパフォーマンスを行いました。



エコステージ

千葉トヨペット株式会社のオリジナルデザインのプリウスPHVが電源を供給するステージ企画で、千葉大学のサークルがパフォーマンスを行いました。(吹奏楽団・モダンダンス部・: Drop)

マスコットキャラクター(チーバくん、ちはなちゃん、ハーティちゃん、のびぞーくん)が大集合する企画はこどもたちが大喜びでした。



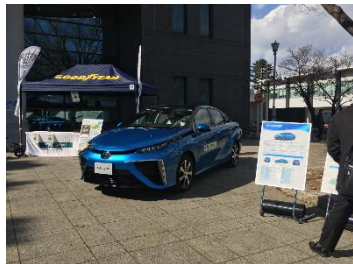
フードエリア

近隣のカフェ「café sorriso」とパン屋「プレゼンテ」が出店し、来場者に美味しいお弁当やパン、ケーキなどを販売しました。



エコドライブ教室

千葉トヨペット株式会社の出展で、水素で作った電気で走るクルマ、トヨタ『MIRAI(ミライ)』の展示、ハイブリットカーの試乗を行いました。



フリーマーケット

モノは捨てずにリユースするエコ体験として、近隣住民の出店によるフリーマーケットを開催しました。



パネルルーム

民間企業（株式会社オオクシ、千葉トヨペット株式会社、株式会社京葉銀行、ライオン株式会社、三菱製紙販売株式会社）と千葉市の環境への取り組みに関する説明パネルを展示しました。



千葉大学の環境への取り組みと環境ISO学生委員会の活動、**京葉銀行とのecoプロジェクト**についてパネルで紹介しました。



エコ川柳

冬の時期、家庭や職場、学校で取り組む「エコ」の川柳を事前に募集し、一次審査を通過した作品を展示。来場者の皆さんに投票していただき、大賞↓を決定しました。
「あと5分 布団から出め これはエコ」



古本回収

学生委員会では毎年4月に不要になった本を集め、新入生等に格安で販売する「古本市」を行っています。イベントではそのための古本を回収し、たくさんの方が古本を寄付してくださいました。



ふれあいエコひろば

学生委員会がエコ輪投げや魚釣りやクイズ、葉っぱカルタを行い、たくさんのおとも達が参加しました。



大抽選会

来場者を対象に大抽選会を行いました。TDLのペアチケットのほか、パネルルームに展示していただいた企業から提供していただいた景品を用意しました。イベントの最後の企画でしたが、150名ほどが参加して大いに盛り上がりました。



スタンプラリー

会場内にスタンプラリーを設置しました。来場者が会場内をめぐりながら楽しんでくれました。



その他

会場内ではごみはステーションをつくり、分別を徹底しました。



当日は読売新聞、毎日新聞、千葉テレビ、J:COM(ケーブルテレビ)の取材があり、実行委員長の山口が対応しました。

